

忘年会

12月11日

コロナ禍のため部署ごとに行っている忘年会。12月は、第2工場と事務所系チームの2つ部署が同じ日に開催されました。両会場にサプライズゲストの登場もあり楽しい時間となりました！

2つの会場に、社長+子どもたちが現れるというサプライズ。江南名物の＜賞金をかけたじゃんけん大会＞が久しぶりに繰り広げられ、盛り上がりました～



事務所系チームメンバー in 遊食房



第2工場メンバー in 一倉



宴会恒例じゃんけん大会の始まり ☆1回目☆



賞金ゲット

壮一朗賞と慶治朗賞をWゲットしました^^v

昨年は忘年会は中止。今年は部署ごとに開催。今まで当たり前になっていた忘年会。今では、できるだけ「有難い」と感じます。当たり前の反対は「ありがとう」。コロナ禍で一層実感する言葉です。みんなの楽しそうな笑顔がいいですね♪来年は全社でできるかな？

12月8日 工場見学★川之江高校

「地域における体験学習」で工場見学に川之江高校2年生38名が来社。社長が四国中央市の素晴らしさと紙産業の



凄さを熱く語り、またヒートシールやパンチ体験などを通してラミネート製品の魅力を伝えました。大人の役割は、地域の子供たちに、故郷のすばらしさ、地域産業の凄さをきちんと伝えること。後日もらった感想から、しっかりと伝わり受け止めてもらったことがわかり、嬉しかったです！心のコもったおもてなし、ありがとうございました！



金生川ラバース 秋季善行賞



金生川ラバースが善行賞を受賞。「思いやりと奉仕の精神に支えられた一つの善行が積み重なり、継続することによって長い間に大きな輪となって広がり、日本を、ひいては世界を明るく住みよい社会とする原動力になる」ことが認められての受賞。＜一燈照隅万燈照国＞＜継続は力なり＞ですね！

12月2日 関西紙工(株)さん来社



関西紙工(株)さんと大王製紙(株)さんの工場見学をさせていただきました。夜は地元企業の方を交えて会食を。変化の激しい時代、時間や情報を共有しながら、競争ではなく協業の精神で乗り切っていきたいと思っております！

江南ラミネートは＜パートナーシップ構築宣言＞をしています



第2回福投げ大会 12月28日



工場の上から投げる人たち



工場の下で拾う人たち

年内最後のビッグイベント、福投げ大会。昨年コロナ禍でできるイベントということで初開催。大好評につき即、恒例行事となりました(笑)。今年はお餅100個増量の500個+お菓子。そこに時々忍び込まれている○○！次々と投げられるお餅やお菓子を必死に取っていく姿は人間の生命力を感じます、それ大事(笑)！



おみやげゲット～

おこづかいゲット～

パン10個券ゲット～

お取引様から頂くお歳暮。くじで順番に選んでいきます。自分へのご褒美だったり、家への土産だったり。毎年の社員の楽しみに★

お歳暮感謝祭



後輩に、選んだ品をチェックされる大ベテラン(笑)ほほえましい!光景

社員が選ぶ 2021 MVP賞



3回目となるMVP賞。今年は、部署内で1名、部署以外から1名という投票に。見事MVPに輝いたのは、宗石さん！部署賞とともにW受賞です！2位は、初代MVP賞をとった堤さん。こちらも部署賞とともにW受賞。そして3位は大西さん。部署内からも部署外からも票をもらった3人が受賞されました！！

「宗石さんみたいな上司がいい」そんな声が聞かれるほど。リーダー、メンター、クラブ活動…、そして日々の業務ではみんなのために走り回り、部署を超えて多くの後輩の面倒を見てくれる「熱血」宗石さん！会社も文句なしのMVPです★



2位+ 第3工場部署賞

W受賞のお二人

MVP賞+ 事務所系チーム部署賞



3位



第2工場部署賞



新工場長になるにあたり前向きで責任感を持って取り組む姿は周りにプラスの影響を。部署内をまとめウイング車の動画を作したり、業務終わりにパソコンの勉強をする姿もすばらしい★

何事も2つ返事で引き受け、楽しく活動する大西さん。＜KOUNAN SMILE＞への登場回数、最多だったかもしれません(笑)後輩の面倒見も良く、責任者としての自覚もアップ！公私共に充実してGOOD★

いつも笑顔の後道さん。あふれ出る明るさは部署や会社を元気にしてくれますね。唯一無二の存在★

2022年もさらに存在感をアップして、活躍してくれることと思います！

12月11日 コスモテレビ<再>取材



～2022年元旦の新春特番で放送！～

12月3日 若手社会人異業種合同交流研修会

グループワークを通して、同年代の方々と交流を深めることができました。活発な同年代を見て、プラスの刺激をもらった交流会。SDGsの見識も深めることもでき、有意義な時間となりました！

HAPPY BIRTHDAY 1月

伊勢 雅	9日
宗石 直也	20日
曾我部優介	25日

おめでとう 鎌倉 信也さん 女の子
1月4日 第2子出産

「カツ社社長がゆく」の巻

12月9日、私が10年近くボランティア活動している金生川ラバースが日本善行会から『秋季善行表彰』を受賞することになりました。本来であれば、東京の明治神宮で皇室の方から表彰していただけるようすが、コロナ禍ということで表彰式は中止になり、四国中央市役所で篠原市長が代理で表彰してくださいました。

金生川ラバースの活動は当初は少人数での河川清掃の活動から始まりましたが、写真コンテストや鮎のぼり設置、小中学校への出前授業などをはじめ、その他にも市民の皆さんに川や自然に関心を持ってもらうとともに、故郷の素晴らしさに気づいてもらえるような活動を続けてきたことで、今は清掃活動にも数百人が参加していただけるようになり、これらのボランティア活動が明るく住みよい社会環境づくりに貢献していると認めて頂けて受賞に至ったようです。

私はこの活動で子供から大人までの幅広い年代の方々や普段の仕事では接する事のない様々な業界の方々を知り合い、人脈を広げることができました。また人の心には良い心と悪い心が同居していると思うのですが、忙しい日常では悪い心が出ることも多くても、ボランティア活動を行うときは良い心を前面に出現させることができるので、自分自身の心を浄化させることもできました。

このようにボランティア活動は社会に貢献できること以外にも、自分自身に良いことがたくさんあります。しかしその良さは実際に活動してみないと分からないことなので、ボランティアの輪を広げることは意外と難しく、当初は活動に誘っても「なんでそんなことせなあかん」と活動自体を揶揄されることもありまして、自分さえ良ければよいという個人主義が蔓延してしまっている現代社会の歪を目の当たりにし、悲しい思いをすることも多かったです。

しかし金生川を通じて、「故郷を誇れる人を増やし地域に貢献したい」という想いのもと、志を同じくする仲間とともに地道に活動を続けてきたことで、今では賛同してサポートしていただける人がたくさん増えて本当に嬉しく思います。この町の未来を担う子供たちが地元を自然を知り故郷に関心を持つことで地域の産業にも興味を持つことにつながり、それがこの町の活性化につながっていくことを信じてこれから活動していきたいと思っております。

克晴

